

特集 変化を畏れず成長するいまがある

～道民児連民児協のあり方検討委員会レポート～

インフォメーション

令和5年度事業報告・収支決算…………… 5

春の褒章・叙勲 …………… 6

おすすめ書籍「ブックレビュー」…………… 8

エッセイ：ひとをつなぐ

「⑩面倒のバロメーター」…………… 8



変化を畏れず成長するいまがある

〈道民児連民児協のあり方検討委員会レポート〉

令和6年3月、民児協のあり方検討委員会（以下、検討委員会）より

令和5年度の答申を受けました。

道民児連は、答申内容を参酌して今後の事業運営につなげていきます。

検討委員会委員長より「取り組みのふりかえりと展望」のレポートをいただきました。

〔民児協のあり方検討委員会への諮問事項〕

- (1) 支え合う民児協づくりを目的とした民児協運営のあり方の研究および提案に関する事項
- (2) 民生委員児童委員の研修のあり方の研究および提案に関する事項
- (3) 民生委員児童委員のなり手不足の課題に関する研究および提案に関する事項
- (4) 第3次北海道民生委員児童委員活動指針の進捗状況の評価に関する事項
- (5) 道民児連市町村民児協活性化事業モデル指定民児協の選考に関する事項
- (6) 前各号に掲げるもののほか、目的を達成するために必要な事項

〔民児協のあり方検討委員会からの答申内容〕

- 提案事項1 活動指針に関する取り組み実践事例集の作成について
- 提案事項2 協働を意図した福祉専門職を対象とする啓発研修について
- 提案事項3 新北海道民生委員児童委員活動スタイルの取り扱いについて
- 提案事項4 研修視覚教材のオンデマンド配信について
- 提案事項5 市町村民児協ヒアリングおよびケーススタディについて
- 提案事項6 市町村民児協同士の交流研修の奨励について
- 提案事項7 民生委員児童委員のためのワークショップのすすめの改訂について
- 提案事項8 中堅民生委員児童委員教室の新たな展開について





鳥居一頼委員長

敬意と感謝を

私は検討委員会を担って早5年目を迎えました。

強い感染力を持った新型コロナウィルスに細心の注意を払いながら、日常の暮らしを取り戻す努力をしている地域福祉の担い手が民生委員児童委員（以下、「委員」）であることは、まがいもない事実です。

この4年の歳月は、まさに地域において委員の底力を如実に見せたと言っても過言ではありません。決してくじけず、できる限りの可能性を見出しながら活動を継続してきました。

振り返れば、いま二期目を担っている委員の多くは、コロナ禍の真っ只中で新任の委嘱を受けました。活動のスタートから初っ端を挫かれ、大きな試練に採られた人たちです。先輩たち

も初めての事態に戸惑いながら、十分なサポートも出来ずに悩んだことでしょう。本来の活動もままならず、志半ばにしてリタイヤした人も少なくないはずです。感染予防の潔癖なまでの対策が、当事者との距離をお互いに遠ざけてしまったことも否めません。

昨年5月、新型コロナウィルス感染症が感染症の5類に移行されました。しかし、規制が緩和されたとはいえ、いまだ感染力は衰えを知らず、ワクチンや後遺症に苦しむ人の報道も事欠きません。感染に配慮しつつ暮らさねばならない社会は、まだまだ続いているのです。特に老人福祉や医療に従事する人たちは、感染しないさせないを徹底してケアや医療の現場を支え続けています。

そのような状況下で、コロナ禍のダメージを拭い去り、普段の活動を取り戻すことに真剣に取り組み委員の真摯な姿勢に、改めて敬意と感謝を捧げます。

コロナ禍に改革の時を刻む

コロナ禍の3年間、道民児連の研修事業がごとく中止に追い込まれました。しかしこれ

は、危機を好機に変える機会ともなりました。従来の研修事業の見直しと検証に十分な時間と思索がもたらされることになったからです。検討委員会を立ち上げ、プログラムの見直しや改善のアイデアが、答申というカタチに結実。特に多くのアンケート調査を実施し、その分析結果を持って事業改革の根拠とすることの説得力は大きかったと考えています。

さらに実施できた事業では、全てアンケート調査を行って改善の成果物を適時に確認し、あわせてそこから見えてきた課題や改善点にも着目。そこに検討委員会での論議も踏まえて、さらなるステップアップを可能としました。事業アンケートは、事業中止にあえいだ令和2年度は3本、令和3年度は2本でしたが、令和4年度はモデル事業を含め6本、さらに昨年度は10本に及びました。

これらの結果を数量化して検証すると同時に、改善にあたっては常に参加者の意見を尊重しつつ構築するというスタンスで臨みました。ブレない研修を実現するための明日への展望を見出す貴重なデータであり、道民児連が組織として改革に注力する根拠ともなっていたのです。

その間の道民児連事務局の取り組みについて、日本福祉大学

の原田正樹学長は「民生委員・児童委員の実態に関する調査報告書」（2024年2月刊・研究代表者小松理佐子氏）の「第6章民生委員児童委員協議会の事務局機能について」北海道民生委員児童連盟の事例を通して」という論文の中で、コロナ禍での奮闘ぶりを高く評価されました。

原田氏は、令和4年に道民児連事務局スタッフにヒアリングを行い、「なり手の確保・研修・負担の軽減」という3つの課題について、その取り組みの実態に即した改革の現実性を評価されています。時と場に応じた様々なアンケート調査についても高く評価し、分析結果をいかに有効に活用し事業に反映していることもあわせて、道行政に対して意見具申する際の説明根拠になっていることにも言及されました。

原田氏は、道民児連の強みは「中長期のビジョン」にあると指摘されました。それは常に委員を取り巻く状況の変化（現状や課題）を掌握し、その解決のためのビジョンを構築。そして常にどのようなテーマやプログラムが必要なのかを練り上げ、時には社会的発信力を強めて臨む活動姿勢のことです。

原田氏のヒアリングでは、活動の継続化、活動の質の担保、持続可能な仕組みづくりのためには、道民児連も含め市町村民児協には専門性の高い担当者と事務局体制の整備が必要であるとまとめられています。

検討委員会としても、民児協の事務局担当者の研修事業（スキルアップ）を、民児協の体制強化のひとつであると提言してきた経緯から、民児協事務局職員研修会を令和5年度試行したが、今年度より事業計画に位置づけて実施しています。

ここ4年間の改革は、委員と共にそのおもいを束ね、地域の福祉活動を活性化し現場力を高めていくものだとして改めて確信しているところです。



令和6年度民児協事務局職員研修会

■新たな提言を掲げて前へ

新たな提言も求められませんでした。研修事業へのたゆまない改革への取り組みは、さらなる一步を踏み出すためのもの。本委員会への諮問事項について、令和5年度のまとめとして答申しました。

今年元旦、能登半島地震が発災して衝撃が走りました。そこには被災を受けながらも献身的に活動する民生委員の姿が見られました。いまだ復旧にはほど遠い地域もあり、手厚い支援が求められている。令和6年度の全道民児協会長副会長研究協議会でのメインテーマはまさに防災の一点であり、能登半島地震を我がごととして考える契機となりました。

道民児連は令和3年度から新規事業として「災害に備える民



研修動画配信
はじめました！

仕事で研修に参加できない自分のペースで学びたい長時間、家を空けられないそんな方はオンデマンド配信をご利用ください。

こんなことが学べます。
・民生委員児童委員の基本的役割
・活動記録の記入方法
・住民支え合いマップ
・災害に備える活動
・災害ハンドブックの解説 などこれらどんどん増えていきます

2) 関係機関との相談、調整、協議

リスクを導き北海道一地域にあわせた実践を

ユザー名 domin
パスワード 2181

(公財) 北海道民生委員児童委員連盟
TEL 011-261-2181 FAX 011-261-3081 E-mail info@dominren.or.jp

生委員児童委員シンポジウム」を開催したり、防災の仕組み作りのモデル事業や「災害に備える民生委員児童委員ハンドブック」の改訂などの普及啓発も事業化したりして取り組んできましたが、日々の暮らしにいか根付かせるのか、委員の意識高揚とあわせて課題は山積したままです。

「第3次北海道民生委員児童委員活動指針」（以下、「活動指針」）に関する進捗状況の実態把握と評価は、重要な案件です。「市町村民生委員児童委員協議会等基本調査」（以下、「基本調査」）や「道民児連関連事業の取り組み実態及び意向に関するアンケート調査」などを踏まえた実態把握と、基本調査から抽出した民児協へのヒアリングによる確認作業や市町村民児協による確認作業におけるモデル指

定民児協の事業内容に着目し、終了後の報告者から活動指針との相関性を検証しつつ、「実践事例集」の取りまとめに改善を加えたいと考えていま

す。

また、研修視聴覚教材について、コロナ禍では様々なDVDを作成し配布。しかし委員の手に教材や再生機器がないといった理由で利用が難しい課題も浮き彫りになったことからオンデマンド (YouTube) 配信が委員個人や民児協内部での研修でこそ寄与するものと考え、すでに災害関連等についての配信を試みています。

さらに、民児協の内部研修に留まらず、コロナ禍で敬遠されてきた視察研修なども先駆的な実践を学ぶ目的で実施される機会も多くなってきています。このことよって訪問地で共に学び合うというグループワークスタイルの研修の成果を知るとこ

■いまをどう捉え明日はどうつながるか

検討委員会の目線は、現場で頑張る委員の立ち位置を確かめ、ともに課題の解決に向かいたいという一点です。なり手不足は、次の改選時に大きな壁として顕在化します。道民児連は、先般4月に開催した地区・市支部長セミナーにおいて「令和7年度一斉改選に関する諸課題と事務手続きのスケジュールについて」を示しました。すでに改

るとなり、是非他の民児協との自主研修事業を進めていただきたく、奨励を言いたいと思います。

初任者研修における詩編を用いたワークショップも5年を数えました。当初は、詩編も少なく、初めての学習体験で戸惑う委員もいたようです。研修後の評価では9割以上が高評価を下し、新任に留まらず、地区の役員も数多く履修するようになりました。中堅教室は過去のスタイルを一掃し、リーダー養成とファシリテーター養成の二つのプログラムに分け、2年間モデル事業を実施しました。民児協の内部研修の充実とコミュニケーションの活性化を目的としたワークショップは、管内や市レ

選の準備を始めなければならぬ事態だと認識しなければなりません。

民児協の人材育成は、研修も含め日常的な活動支援も常に念頭に置いて為さねばならないことであり、連動して任期途中や短期のリタイアの現状を改善するためにも、民児協内のよりよき人間関係の構築や研修に尽力しなければならぬと考えています。

変化を畏れない。変化こそ成長の証である。言うは易し行う

ベルで是非やりたいという多くの要望に添えてすでに日程が組まれました。関連して、テキスト『ワークショップのすすめ』を改訂する準備も進めたいと思います。

また、道民児連では重点事業として住民支え合いマップの推進を図ってきた経過があります。民児協の取り組みには温度差があり、全道的な普及には至っていない状況にあります。住民支え合いマップは、活動指針の下支えとなる重要な取り組みであることから、検討委員会の下、今後の取り組みのあり方について精力的に協議を進めることとしたいと考えています。

は難しですが、検討委員会は「為すことよって知る」ことをモットーに、道民児連の果たすべきミッションに持てる力を注ぎつつ、民児協の委員や事務局の皆さんと共に「行動する福祉ビジョン」を描きたいと思

改革の時は熟しました。コロナ禍での休眠状態から目覚め、事務局をサポートし事業推進のエンジンをギアアップして臨むことを約束します。

令和5年度 事業報告

1. 新型コロナウイルス感染症は、人びとのライフスタイル、社会の仕組み、そして価値観に大きな影響を与えた。少子・高齢人口減少社会はますます進行し、経済環境の悪化や所得格差の拡大、家族関係や地域社会におけるつながりの希薄化など、さまざまな社会課題を抱える今日にあって、コロナ禍はまさに人びとの生きにくさを助長する大きな困難であったと言える。しかし、感染症が一定の収束を見せたことにもとない、令和5年5月、5類指定感染症へと見直された。このことで、停滞していたさまざまな社会活動は再始動し、民生委員児童委員活動においても、コロナ禍で培った活動形態を踏まえつつ、時勢に応じた新たなスタイルで活動が進められている。

その中において、本連盟が主催する研修事業については、これまでの経験を活かしてオンライン等も活用した展開を図ってきた。結果、感染症の拡大を理由とした研修事業の中止はなく、すべての研修事業を計画通り履行できた。この成果をもつて、本連盟の研修事業においてコロナ禍に一定の区切りをつけることができたと考えている。

一方、今年度はコロナ禍の副産物ともいえる新規事業を実施した。オンラインサロンである。コロナ禍において積み上げたオンラインのノウハウを活かし、主任児童委員を対象としたオンラインによるサロンを2日程にわたって実施した結果、参加者からは高評価を得ている。ネットワーク形成にあたりその広域性がハンデキャップになる北海道において、委員活動の充実を図る新たな手段として、オンラインサロンは大きな可能性を秘めている。事業の一般化に向けた取り組みを継続することとしたい。

3%を数え、今後の民生委員児童委員活動を考えていくにあたって貴重な資料を作成することができた。本調査に協力いただいた関係者に感謝申しあげたい。この調査の結果、本連盟主催の第3次北海道民生委員児童委員活動指針の重点推進項目である「委員同士が支え合える民児協の活性化」に関連する取り組みが、コロナ禍にも関わらず増加傾向にあることが確認された。委員のなり手不足の課題や、ウイズコロナ時代の到来が民児協機能を活性化させた要因であると分析している。

一方、道民児童災害時対応ガイドラインにそつて、令和5年11月、災害に備えることをテーマとした研修会を実施した。オンラインも含め500名を超える参加があり、普及・啓発事業としては一定の成果があった。この研修会の内容はオンデマンドでも配信する予定としており、先に発行した災害に備える民生委員児童委員ハンドブックに合わせ、日常的な災害に備える、学びの環境を整備する計画である。

また、民児協のあり方検討委員会を常設設置して1年が経過した。この間、市町村民児協活性化事業モデル指定民児協の選考や、本連盟事業に関する提案を中心とした答申をいただいている。答申書で示された内容は、多角的な見地で現状を客観的に指摘しており、今後本連盟が事業に対する視座を高めるにあたって必要な事項を示唆している。お忙しい中4回にわたる委員会にて、積極的な議論をいただいた委員の皆様には感謝を申しあげたい。

令和5年9月、全国民生委員児童委員連合会において、令和7年度の全国民生委員児童委員大会を北海道で開催することが決定した。このことにもない、札幌市民生委員児童委員協議会との共同により9月22日に実行委員会を立ち上げ、以降各種打合せを重ねている。令和7年度の開催に向けて滞りなく準備を進めることとしたい。

2. 今年度は一斉改選の翌年に当たするため、市町村民生委員児童委員協議会等基本調査を実施した。単位民児協の調査回答率は94.3%を数え、今後の民生委員児童委員活動を考えていくにあたって貴重な資料を作成することができた。本調査に協力いただいた関係者に感謝申しあげたい。この調査の結果、本連盟主催の第3次北海道民生委員児童委員活動指針の重点推進項目である「委員同士が支え合える民児協の活性化」に関連する取り組みが、コロナ禍にも関わらず増加傾向にあることが確認された。委員のなり手不足の課題や、ウイズコロナ時代の到来が民児協機能を活性化させた要因であると分析している。

一方、道民児童災害時対応ガイドラインにそつて、令和5年11月、災害に備えることをテーマとした研修会を実施した。オンラインも含め500名を超える参加があり、普及・啓発事業としては一定の成果があった。この研修会の内容はオンデマンドでも配信する予定としており、先に発行した災害に備える民生委員児童委員ハンドブックに合わせ、日常的な災害に備える、学びの環境を整備する計画である。

なく履行することができた。今年度は理事の改選があったが、正副会長を含めすべての理事が留任となった。

また、本連盟の財務状況について、令和2年度に策定した「道民児童連中長期財務指針」にもとづき、周年事業に備えた活動強化基金積立資産への積立を行うことができた。しかしながら、物価高の影響を受け全体的な正味財産増減は若干の赤字となったことから、財務の効率化を始め今後も適正な管理に努めていきたい。

そして、令和6年元旦に発生した能登半島地震は記憶に新しいところであるが、被災地域の皆様の安心・安全と、平穏な日々が一日も早く戻りますことを心よりお祈り申しあげたい。本連盟は、全国民生委員児童委員連合会が運営する「被災地民児協支援募金」への寄附金を市町村民児協に呼びかけたところ、多額の浄財が寄せられた。このことについても深く感謝を申しあげたい。

公1 民生委員児童委員の資質向上のための研修事業

ア 研修・研究協議事業

(ア) 全道民児協会長・副会長研究協議会開催事業

- 令和5年6月6日(火)～7日(水)
札幌市・札幌パークホテル 672名
(対面545名、オンライン127名)
- 令和5年8月23日(水)～24日(木)
札幌市・札幌パークホテル 459名
(対面317名、オンライン142名)
- (ウ) 中堅民生委員児童委員教室開催事業
令和5年10月19日(木)～20日(金)
小樽市・小樽経済センタービル 16名
【ファシリテーター養成型研修】
令和5年10月27日(金)
厚沢部町・厚沢部町保健福祉センター14名

- (エ) 民生委員児童委員活動推進講座開催事業
札幌会場 令和5年8月29日(火)

札幌市・北海道自治労会館	65名	合計	2,342名
オンライン	159名		
旭川会場	令和5年8月30日(水)	旭川市・旭川市公会堂	356名
苫小牧会場	令和5年8月31日(木)	苫小牧市・苫小牧市民会館	164名
函館会場	令和5年9月1日(金)	函館市・函館市民会館	206名
釧路会場	令和5年9月4日(月)	釧路市・釧路センターリキヤッスルホテル	221名
北見会場	令和5年9月5日(火)	北見市・北見芸術文化ホール	211名
合計			1,382名
(オ) 民生委員児童委員専門研修事業			
空知管内	令和5年9月20日(水)	岩見沢市民会館文化センター	286名
石狩管内	令和5年9月14日(木)	シャトレーゼガトーキングダムサポロ	217名
後志管内	令和5年9月28日(水)	余市町中央公民館	98名
胆振管内	令和5年7月28日(金)	苫小牧市民会館	279名
日高管内	令和5年9月8日(金)	日高合同庁舎	37名
渡島管内	令和5年7月20日(木)	函館市民会館	350名
檜山管内	令和5年9月22日(金)	乙部町民会館	52名
上川管内	令和5年7月7日(日)	旭川市大雪クリスタルホール	149名
留萌管内	令和5年11月16日(木)	留萌市中央公民館	62名
宗谷管内	令和5年6月30日(金)	稚内総合文化センター	120名
オホーツク管内	令和5年10月17日(火)	紋別市民会館	219名
十勝管内	令和5年6月26日(月)	帯広市民文化ホール	226名
釧路管内	令和5年8月2日(水)	釧路センターリキヤッスルホテル	177名
根室管内	令和5年7月14日(金)	羅臼町民体育館	70名

(カ) 民生委員児童委員初任者研修事業			
空知ブロック	令和6年2月1日(木)	三笠市民会館	16名
石狩・後志ブロック	令和6年2月21日(水)	北広島市芸術文化ホール	85名
胆振・日高ブロック	令和6年2月22日(木)	だて歴史の杜カルチャーセンター	27名
渡島・檜山ブロック	令和6年2月27日(火)	北斗市総合文化センター	39名
上川・留萌ブロック	令和6年1月24日(木)	名寄市役所	37名
宗谷ブロック	令和6年2月14日(水)	稚内総合文化センター	18名
オホーツクブロック	令和6年2月8日(木)	オホーツク文化センター	50名
十勝ブロック	令和6年3月5日(火)	音更町総合福祉センター	28名
釧路・根室ブロック	令和6年2月6日(火)	釧路センターリキヤッスルホテル	20名
合計			320名
イ 民生委員児童委員(民児協)活動支援事業			
(ア) 民生委員児童委員(民児協)活動支援事業(講師等派遣)			
(1) 講師等派遣	14件		
(2) 研修受入	7件	122名	
(3) 視聴覚教材等の貸出	10件		
(4) 道民児童研修ビデオシリーズ研修用DVDの提供			
(5) 道民児童おしゃべりサロン(オンラインサロン)の実施			
23市町村民児協	111名		
令和6年2月16日(金)	12名(10市町村)		
令和6年2月29日(木)	9名(7市町村)		

アマテラスの暗号(上・下巻)



伊勢谷 武 著
宝島社文庫
各840円(税込)

■内容

「元ゴールドマン・サックス・ニューヨークのトレーダー、ケンシ(賢司)」は、日本人である父との四十数年ぶりの再会の日、父がホテルで殺害されたとの連絡を受けます。父は日本で最も長い歴史を誇る神社の一つ、丹後・籠神社の宗家出身の第八十二代目宮司でした。籠神社は伊勢神宮の内宮と外宮の両主祭神(アマテラスと豊受)がもともと鎮座していた日本唯一の神社で、境内からは一九七五年、日本最長の家系図『海部氏系図』が発見され、驚きとともに国宝に指定されていました。父の死の謎を探るため、賢司は元ゴールドマンの天才チームの友人たちと日本へ乗り込むことに。

皇居内にある禁秘の神殿、宮中二殿。歴史の厚いペールに覆われた神殿の、平安時代から続けられる儀式

の数々。日本の神社に描かれる六芒星は、ユダヤの神聖な図形。事実に基づく多くの資料を引用しながら日本人とユダヤ人の知られざる関係性を描きながら、物語は進みます。果たしてその行きつく先は…。

神道とはなにか。天皇家の正統性とはなにか。日本人はどこからきたのか。私たちのルーツでありながら多くにとってタブー視されてきたこの疑問を、ミステリーのかたちを借りて迫る本書は、膨大な引用資料がエビデンスとなっているために、一般的なミステリーののような読者の推理をかき立てる面は希薄です。添えられた資料の解釈には、人それぞれで相違があるかもしれませんが、陰謀論と一笑に付すことはできない面白さに満ちています。

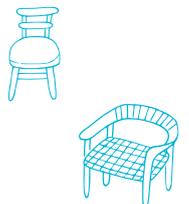
昨夏の岸田総理が夏休みのみとした傑作が、文庫化されて再登場。

エッセイ



13 面倒のバロメーター

鳥居 一頼



面倒のボルテージが上がる

厄介なことになったと緊張する

とても一人じゃやり切れない

解決できるかどうか不安が走る

関わった瞬間から覚悟する

厄介なことは避けられない

いまの力量ではとうてい担えない

解決の糸口さえも見えてこない

面倒のバロメーターが動き出す

責任感で追い立てられて指数がブレる

使命感で追い詰められて指数がアップする

義務感で追い込まれて指数がダウンする

面倒のバロメーターが危険を知らず

経験豊富な頼れる仲間がいる

何事にも動じない笑顔の仲間がいる

解決へ導く冷静な仲間がいる

ひとりで決して悩まない

面倒見のいい仲間が面倒から解放する

ひとりぼっちに決してしない

面倒に感じる仲間が萎えた心を癒す

ひとりをみんなで支える

面倒が仲間のきずなをさらに強くする

面倒のバロメーターは正常値に戻る

【筆者紹介】

鳥居 一頼(トリイ カズヨリ) 1949年生、登別市出身、北海道教育大卒。道内で18年間教壇に立つ。道教委、道庁などに勤務後、室蘭・登別で小学校校長歴任。その後関西の私立大学の教授。現在、登別市きずな大使として市社協の地域福祉実践計画推進を支援するかたわら、地域福祉アドバイザーとしても活動している。社会福祉法人北海道友愛福祉会理事。また道民児連が令和5年より設置した「民児協のあり方検討委員会」の委員長を担われている。「民生委員児童委員のためのワークショップのすすめ」(道民児連2021年刊)の中で詩集「情緒は私を支配する。論理よりも強く」が教材化され、初任者研修では詩をもちいた斬新な研修スタイルが評価されている。主な著書に「子どもと学ぶボランティア」こっちょのボランティア授業論(大阪ボランティア協会など)。